愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：遺伝子染色体検査研究班 提出日：平成 30 年 9 月 18 日 報告者：柴田 典子

行事種別	研究会	行事番号	180012833	
開催日	平成 30 年 9 月 8 日 (土)			
時間	開始	15 時 00 分	終了	17 時 00 分
場所	愛知県がんセンター中央病院 総合診断室 (所在地 名古屋市)			
テーマ	遺伝子検査における FFPE 検体の品質保証			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	JA 愛知厚生連 安城更生病院 杉浦 記弘 技師			
講師	<p>1.NGS(次世代シーケンサー)による遺伝子検査の実際 イルミナ株式会社 Senior Clinical Specialist 板橋 眞希</p> <p>2.NGS における検体の Quality Control について 愛知県がんセンター中央病院 個別化医療センター医長 羽根田 正隆</p>			
内容	<p>2017 年 10 月に公表されたがん対策推進基本計画 (第 3 期) では、重要政策の一つとして「がんゲノム医療の推進」が掲げられており、そのような流れの中において我々検査技師が知っておくべき知識、技術として次世代シーケンサー (NGS) がある。NGS シーケンサー販売メーカーの方と、実際に運用している医師より、講演をいただいた。</p> <p>1. NGS(次世代シーケンサー)による遺伝子検査の実際 NGS の原理、検出方法からそれが医療にどのように利用されているか、また、その問題点 (検出限界、FFPE 検体固有の問題) などを解説していただき、また精度管理の重要性も示していただいた。</p> <p>2. NGS における検体の Quality Control について 実際に NGS 使用して遺伝子検査を実施している医師より、ゲノム医療において NGS が必要とされる理由や、その結果の解釈における注意点、核酸の品質確認方法などが示され、なぜ FFPE における品質保証が重要なのかを解説していただいた。 検査室として FFPE 標本の品質管理、精度管理をどのようにすべきかといった質問もあり、研究班としての今後の課題を提示された研究会であった。</p>			
参加者	総数：28 名 (会員 23 名、非会員 5 名 (講師 2 名、メーカー社員 1 名、講師施設内職員 2 名)、賛助会員 1 名)			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：遺伝子染色体検査研究班 提出日：平成 30 年 11 月 4 日 報告者：渡邊 かなえ

行事種別	基礎講座	行事番号	180015702	
開催日	平成 30 年 11 月 4 日 (日)			
時間	開始	10 時 00 分	終了	16 時 00 分
場所	中部大学名古屋キャンパス (所在地 名古屋市)			
テーマ	やってみよう！PCR&FISH			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	山田敦子(愛知医科大学病院) 鈴木翔太(胎児生命科学センター)			
講師	白神博(サーモフィッシャーサイエンティフィックライフテクノロジーズジャパン株式会社) 田村彰吾(名古屋大学医学部保健学科) 伊藤淳二(国立長寿医療研究センター) 泉澤康弘 (アボットジャパン株式会社) 和田栄里子(愛知医科大学病院)			
内容	<p>遺伝子検査は、その原理の難しさから嫌煙される検査の一つである。今回は、PCR 及び FISH の基礎的な知識に関して初心者ができるようなわかりやすい内容で講師の先生方に講演を依頼した。PCR においては、原理から臨床研究、臨床検査へ応用させた遺伝子検査の講義を聴講した。FISH は染色体を想像しながらの原理から実際の画像の見え方、そして実際導入された先生の苦労話を拝聴した。</p> <p>午後は、4 つのグループに分かれて実習を行った。FISH は 3 つのグループ(染色体/固形腫瘍/造血器腫瘍)に分かれ、3 分野の画像をモニター越しに受講者と観察しながら講師の先生からレクチャーを受けた。残る 1 グループはサーモさんによる PCR の実践を無害の物質を利用して実演していただいた。</p> <p>いずれも初心者でも理解できる知識と実習だったと思う。</p>			
参加者	総数：43 名 (会員 37 名、県外会員 4 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 2 名)			
共催、後援など	なし			

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：遺伝子染色体検査研究班 提出日：平成 30 年 12 月 8 日 報告者：渡邊 かなえ

行事種別	講演会	行事番号	180024038	
開催日	平成 30 年 12 月 8 日 (土)			
時間	開始	15 時 00 分	終了	17 時 00 分
場所	名古屋第二赤十字病院 加藤化学記念カンファレンスホール (所在地 名古屋市)			
テーマ	新たな遺伝子検査法の臨床現場での活躍			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	柴田典子(愛知県がんセンター中央病院)			
講師	上野 智浩(富山大学医学部附属病院) 池尻 誠(三重大学医学部附属病院)			
内容	<p>今回は新たな検査法を用いて臨床現場で活躍されている 2 人の講師の先生方に講演を依頼した。</p> <p>一人目は、起炎菌における迅速同定検査システムを構築し、いち早く診断および投薬が行えるように開発された上野先生である。生菌培養時間が長いことから、遺伝子を利用した同定システムである。様々な施設で利用されており、生菌培養との一致率は 100% であり、かなり有用性の高い検査である。</p> <p>二人目は、がん診療におけるクリニカルシーケンスを院内実施されている池尻先生である。検体処理から解析、エキスパート会議への参加もされており、ホットな話題を提供していただいた。NGS における精度管理についてもお話があり、興味深く拝聴した。</p>			
参加者	総数：20 名 (会員 18 名、県外会員 2 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名)			
共催、後援など	なし			

2019.1.10

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：遺伝子染色体検査研究班 提出日：平成 31 年 1 月 25 日 報告者：渡邊 かなえ

行事種別	基礎講座	行事番号	180024038	
開催日	平成 31 年 1 月 19 日 (土)			
時間	開始	15 時 00 分	終了	17 時 00 分
場所	スズケン名古屋支店 2 階 会議室 (所在地 名古屋市)			
テーマ	家族性腫瘍のがんゲノム医療			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	渡邊かなえ(名古屋大学医学部附属病院)			
講師	稲垣秀人(藤田医科大学) 大江瑞恵(藤田医科大学)			
内容	<p>家族性腫瘍のがんゲノム医療をテーマに、二人の講師の先生に講演を依頼した。</p> <p>一つ目は、次世代シーケンサによるゲノム医療というタイトルで、藤田医科大学の稲垣先生が講演された。イルミナ社の NGS 原理をわかりやすくイラストで説明していただき、検査の流れを解説していただいた。検査の利点欠点、様々データベースもご紹介くださった。</p> <p>二つ目は、遺伝性腫瘍と遺伝カウンセリングというタイトルで、日ごろ遺伝カウンセラーと活躍される中で、時代と共に変化していることに関してご講演くださった。また昨年 4 月から開始されたがんゲノム診療における 2 次的所見や MSI 検査に関してもご講演してくださいました。</p>			
参加者	総数：34 名 (会員 34 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名)			
共催、後援など	なし			

2019.1.25